

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：森由美子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R7.9.9～ ～9.10	R7.9.9. 午後1時 30分～ 午後4時 40分	東京都	インド共和国 大使館	インド大使館 ジビ・ジョージ 駐日インド大 使	活動報告書の 通り	903
	R7.9.20 午後2時 ～ 午後5時	米子市	防災体験キャ ンプ	参加者約 50 名以上	福米中学校区 防災体験キャ ンプ参加 定例議会質問 案件の調査	906
R7.9.22～ ～9.23	R7.9.23 午前10時 ～ 11時30 分	東京都	鳥取県・岡山県 共同アンテナ ショップ	鳥取県・岡山共 同アンテナシ ョップ事務局	活動報告書の 通り	907
R7.10.9～ 10.10	R7.10.9 午前10時 ～11時	東京都	日本の領土主 権展示館	展示館事務局 長 石野貢三	活動報告書の 通り	1003.1004
	R7.10.30 午前11時 30分～ 午後5時	鳥取市	日本海テレビ ジョン（株）	参加者 200 名 以上	全国過疎問題 シンポジュー ム in とっとり 参加	1006

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告 (県外) 国外)

議員名： 森 由美子

活動事項	駐日インド共和国大使館「とっとりデー」出席
活動年月日	2025年9月9日
場所	駐日インド共和国大使館
活動の相手方	鳥取県、駐日インド共和国大使館
活動の目的	鳥取県とインドとの交流促進および相互理解の深化を図るため、在日インド大使館主催の「とっとりデー」に出席した。
活動の内容	・鳥取県内においてインドとの交流事業を展開している企業・団体より、各種事業の取組状況および今後の展開についての発表を聴取した。 ・鳥取県が推進する食関連事業や観光・産業振興施策等に関するパネル展示を視察し、県の対外発信の取組について理解を深めた。
活動の結果等	インド共和国は近年著しい経済発展を遂げており、その成長を背景に、鳥取県内の民間事業者との連携や事業展開も徐々に進んでいることを確認した。特に、人口増加に伴う課題を抱える同国と本県は、相互に補完し得る関係性にあると認識した。 今後は、この機会を捉え、経済・人的交流のさらなる推進とともに、県内企業の進出支援を強化する必要がある。また、関係構築を継続的なものとするため、議員間の定期的な交流機会の創出が重要であると考えます。
関連領収書番号	903

インドとっとりデー India-Japan Partnership : Tottori

日時： 令和7年9月9日（火）13:30～15:40
場所： 駐日インド共和国大使館（東京都千代田区九段南2-2-11） 1階ホール
主催： 鳥取県、駐日インド共和国大使館

次第

- 13:30 ビデオ上映
13:35 シビ・ジョージ駐日インド大使 開会挨拶
13:40 鳥取県知事 平井伸治 挨拶
鳥取県会議長 福田俊史 挨拶
日本貿易機構(JETRO)理事 奥村明子 挨拶
- 13:55 <プレゼンテーション>
鳥取県観光大使 MAYO
チーム鳥取・インド輸出蔵元会
大谷酒造株式会社 代表取締役 大谷修子
Mika Sake Global 株式会社 代表取締役 江岡美香
大成工業株式会社 取締役 TSS 事業部長 松本安弘
株式会社ノーチスラボ 取締役 小杉拓利
株式会社 R0 代表取締役 藤井政至
東亜ソフトウェア株式会社 代表取締役 秦野博行
メガローズ ジャパン
ニートゥ スニル
イッポラボ合同会社 代表社員 田中大一
- 14:55 チェアーヨガ
- 15:00 <プレゼンテーション>
オディシャ州政府水資源局
開発局長兼首席秘書官 アヌ・ガルグ
スリー チトラ ティルネル医科学技術研究所
TlMed CEO S・バララム教授
インベストインディア 副社長 スジャータ・UG
- 15:25 インド観光局 ビデオ上映
15:30 インド文化講演

本日はご参加くださり誠にありがとうございました
こちらの QR コードから本日のご感想をお寄せください



活動報告 (県外・国外)

議員名： 森 由美子

活動事項	鳥取県の移住定住調査
活動年月日	2025年9月22日～9月23日
場所	とっとり・おかやま新橋館 TOP - とっとり・おかやま新橋館 【鳥取県×岡山県 アンテナショップ】 公式WEBサイトとっとり・おかやま新橋館 【鳥取県×岡山県 アンテナショップ】 公式WEBサイト
活動の相手方	鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営事務局
活動の目的	施設の現状調査 1) 移住定住紹介スペース（2階）の状況 2) 催事スペースの利用状況 3) ビストロカフェ「ももてなし屋」運営状況 4) 1階売場の状況
活動の内容	施設状況からの観察 1) 1か月に約8組の移住相談があり、Uターン・Iターンはほぼ半々。再来店やカフェ利用として気軽に訪れる人も多く、相談体制が定着し、継続的な関係づくりにつながっている。 2) 「森のようちえん」PR活動などに活用され、鳥取県に縁のある来館者の利用が増加。同窓会利用も確認された。一方で、オフィススペースの利用率が低く、活用が課題。 3) 昼時間帯は盛況で、県産の梨や桃を使ったパフェなど特色あるメニューが集客に貢献。観光客と地域客の双方を取り込めている。 4) 日本人観光客の利用が多く、週末はイベントや生産者による直売で賑わう。訪問日は「因幡クラフトコーラ」が完売。佳子内親王殿下着用の民芸品イヤリング展示など、話題性を活かした工夫で来店者の関心を引いている。
活動の結果等	とっとり・おかやま新橋館は、移住定住の相談機能、県産品PR、飲食による集客、イベント・直販による販売促進など、多様な形で鳥取県の魅力発信拠点として機能している。一方で、オフィススペースの利用率改善が今後の課題として認識された。今後は、利用促進策の検討や第二の拠点としての機能強化が期待される。
関連領収書番号	907

活動報告（県外・国外）

議員名：森 由美子

活動事項	日本の領土・主権について調査
活動年月日	2025年10月9日
場所	日本の領土・主権展示館
活動の相手方	展示館事務局長（石野貢三氏）
活動の目的	日本の領土・主権を巡る現状と課題について正確に把握し、適切な対応策の検討につなげるため。
活動の内容	解説員による調査結果の説明及び展示館内の展示物に関する解説を受けるとともに、イマーシブシアターやデジタル地球儀を活用した歴史・地理に関する視覚的解説を通じて理解を深め、その内容について質疑応答を行う。
活動の結果等	2025年4月にリニューアルされた当館は、日本の領土・主権に関する展示について、最新の映像技術を活用し、従来の「読む展示」から「体感する展示」へと刷新されており、臨場感のある見学・調査が可能となっていた。北方領土、竹島、尖閣諸島などの歴史的経緯及び現状について基礎的な知識を習得するとともに、日本の離島、資源、安全保障に関する理解を一層深めることができた。
関連領収書番号	1003 ・ 1004